

# 山田のかかし



NO.42

発行

地域教育協議会

編集

事務局

山田東中学校区地域教育協議会だより

令和5年（2023年）11月11日（土）山田第一小学校「創立150周年式典・祝賀会」が行われました。式典では、体育館にて児童たちの合唱、演奏の披露があり、とても穏やかな式典でした。

## 吹田市立 山田第一小学校

# 祝創立150周年



## 創立150周年記念行事を終えて

吹田市立山田第一小学校 校長 速水 素子

令和5年11月11日、さわやかな秋晴れの中で、本校の創立150周年記念式典を開催いたしました。この日を迎えるまでに、地域の皆様や主催となるPTAの実行委員の皆様と、協力して準備を行ってまいりました。昨年度募集した150周年記念キャラクターを今年度に全校投票で決定したり、校務員さんに手作りの看板を校門に設置してもらったり、当日配付したパンフレットの編集作業、手書きの背景、航空写真や祝賀会の手配などをPTAの皆さんに担っていただいたり、地域の皆様にもお祝い俳句を募集したりと、150周年にかかる様々な催しをPTAや地域の方の協力で実施することができました。本当にありがとうございました。

また、当日は1～4年生はオンラインで参加するなど、コロナ禍を経て実現したこともありました。市長からは150周年を機に教職員で見直した学校教育目標をふまえたお話をいただき、間接的に学校のこれからの学校の方針を関係する皆様へ発信することができました。1年生から6年生までの音楽もたくさんの皆様に褒めていただきました。

式典を終えて感じたことは、やっぱり山一小は地域の学校だな、ということです。山一小では当たり前のことかもしれませんが、地域の方の多くが山一小を我が学校だと考えていることや、山一小の子どもたちを「地域を継ぐ子」として愛してくださっていることは、すべての校区に共通することではありません。山田地域に長くこの学校があり、様々な時代を通して、いいときも悪いときも地域の中心にあった学校だったからでしょう。30代目の校長として、このような伝統はこれからも守っていきたく思いました。

来年度はいよいよ新しい半世紀への出発の年になります。次の50年に大きく飛翔する山田第一小学校と児童を、これからもどうぞよろしくお願いたします。



# 第19回 地域協フェスティバル

4年ぶりに開催！

10月28日土曜日、第19回地域協フェスティバルが4年ぶりに開催されました。

前日までの雨模様が嘘のように晴れ渡り、すがすがしい秋晴れの中たくさんの方々のご来場くださいました。伊射奈岐神社太鼓神輿保存会による五連太鼓を皮切りに、高校や小学校、そして中学校や地域の参加団体による熱のこもったパフォーマンスが繰り広げられ、歓声や大きな拍手に包まれました。飲食模擬店には長蛇の列ができ、あっという間に完売になったお店も。。

また体験コーナーやキッズコーナーでは、ホッピングやフラフープ、ゲームやオリジナル缶バッジづくりなど、楽しむ子ども達の笑顔が溢れました。会場となっている山田東中学校からは、ステージ出演だけではなく、生徒会や部活動単位でゲームコーナーや模擬店などを出店。今年はそのほかにも飲食模擬店の中学生ボランティアさんも募集し、たくさんの生徒さんが参加してくれました。

皆さまのご協力により、無事にフェスティバルを開催することができました。ありがとうございました。「集うことができる」というのは本当に素晴らしいことですね。



## 山田東中学校区地域教育協議会主催

## 講演会

2月10日（土） 山田ふれあい文化センターにて講演会が開催されました。今回は「幸せの入り口」初代当主・盲目のセラピスト 西亀 真氏と相棒の盲導犬シエル君をお迎えし講演していただきました。

「幸せの入り口」を見つけ、夢を叶える為、大切なことはなにかを、ユーモアいっぱいの優しく温かい言葉でお話していただきました。

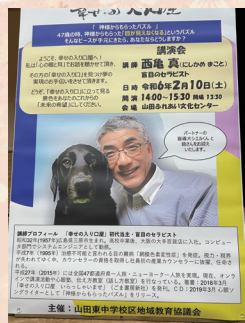
心眼ソングライターとしてリリースされた『神様からもらったパズル』を会場で歌っていただき、西亀氏の想いが込められたその歌に、涙をぬぐっておられる方など、会場は感動で包まれました。

笑いあり、感動ありの1時間半は心を前向きにしてくれる素敵な時間となりました。

講演最後に、講演に来られていた『パンツを脱いだあの日から日本という国で生きる』を執筆された吹田市在住のマホムッド ジャケル氏を紹介されました。ジャケル氏とは、アジア協会でお知り合いになり、今では親友という間柄だそうです。お二人とも、とても素敵な方でした。



はじまりは、みなさんおなじみ「サザエさん」のオープニング曲のうクレシ演奏！



シエル君は終始  
おりこうさんでした！

